

この1年を振り返って

京都府中学校体育連盟
会長 野川 晋司

令和4年度の「京都府中学校体育連盟報告書」が発行される運びとなりました。本年度も、京都府中学校体育連盟の諸事業に対しまして、皆様方から多くの御指導と御支援を賜り、誠にありがとうございました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響がある中ではありましたが、各役員及び理事・各専門部の部長・専門委員長・専門委員の先生方には、競技運営等に御尽力いただき各事業を無事に終えることができました。特に京都府中学校総合体育大会では、新型コロナウイルス感染症対策を十分に図り、安心・安全な大会を開催することができました。具体的な対策としましては、健康観察、会場の動線の工夫、換気、アルコール消毒等が挙げられます。また、今年度につきましては、そのような感染対策を十分に講じた中で、人数制限を設け、3年ぶりに有観客での開催となりました。選手たちの安全・安心は基より3年間の集大成を保護者の皆さまにも披露できる素晴らしい大会となりました。京都府総体の本来の姿を取り戻す第一歩となりました。

8月下旬に行われた全国中学校体育大会では、団体において京都光華中学校女子ソフトテニス部が3位など、3種目で4団体が入賞を果たしました。また、個人では、水泳競技400m個人メドレーでの京都市立太秦中学校男子、柔道50kg級での宇治市立黄檗中学校男子の優勝をはじめ、3種目で24名が入賞を果たしました。さらに、全国中学校駅伝大会では、京都市立桂中学校女子が2位、男子が3位の好成績を収め、個人では、区間賞2名をはじめ、6名が入賞を果たしました。冬季大会（スキー、スケート）では、スケート女子の部において、宇治市立広野中学校の女子の2大会連続での優勝を含む5名が入賞を果たしました。

本連盟の主催事業については、今回で10回目を迎えるコーチングセミナー全体講義は、3年ぶりの開催となりました。専門的な視点からケガの予防、パフォーマンスの向上について、日常から部活動指導に携わる先生方が講義を受け、有意義な時間を過ごしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染対策、部活動の地域移行、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定される等によって、部活動の在り方が大きく変わろうとしています。特にその中心におられる部活動指導者の皆様には、今までになく、不安や御負担をおかけしていることにおいては、感謝申し上げますとともに、引き続き御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

後になりましたが、「京都府中学校体育連盟報告書」の編集に御協力いただきました関係者の皆様方、日頃から本連盟の活動に対して御理解・御協力いただきました皆様方、そして、御指導・御支援を賜りました京都府教育委員会・京都市教育委員会・各市町（広域連合）教育委員会・（公財）京都府スポーツ協会・関係諸団体の皆様にご心から御礼申し上げます。